

## ピコレーザー治療に関する説明書・同意書

### ◆ピコレーザーについて

ピコレーザーとは、ピコ秒（1ピコ秒=1兆分の1秒）という短い時間でレーザー光を照射することができる機械です。照射時間が短いため、最大出力が大きくなり、色素斑等のメラニンに対して、瞬間的にエネルギーを伝えることができ、熱作用が少ないため、結果的に少ない回数での色調改善が期待されています。またレーザー照射後の副作用（炎症反応や色素沈着）を軽度を抑えることが可能と考えられています。

### ◆適応症例

- ・シミ、そばかす、皮膚の質感の改善、真皮メラノサイトーシス(ADM)・ニキビ跡の凸凹、皮膚の小ジワの改善
- ・タトゥーの除去

### ◆治療前注意事項

- ・日焼けをした状態では熱傷を生じるリスクが高くなるため、照射をすることができません。
- ・日焼けをしないよう SPF30 以上の日焼け止めをして下さい。

※日焼けしてしまった場合には、日焼けが落ち着いてからの照射となります。

- ・治療部位に日焼け止めや化粧品（クリーム、化粧水含む）が残っていると、レーザーが成分に反応して熱傷を起こす可能性があります。照射前には必ず落として下さい。
- ・サンオイルを使用している場合は、1~2週間前より使用を控えて下さい。
- ・経過観察をする目的で施術部位の写真を撮らせていただくことがございます。撮影させていただいた写真に関しては、厳重に保管し患者様との経過観察以外で無断使用することはありませんのでご安心ください。

### ◆治療後注意事項

- ・トーンニングやフラクショナルを照射した後、照射部位に赤みや腫れ、かゆみ、点状出血が残ることがありますが、一過性の症状であり1週間程度で軽快します。1週間以上経過しても軽快しない場合は早めにご連絡下さい。
- ・照射直後は疼痛が強い場合がありますので、アイスパック等でクーリングを行います。
- ・スポット照射を行った場合、小さいものや摩擦の少ない部位は、術後にガーゼやテープを貼る必要はありません。
- ・治療部位は掻いたりしないで下さい。皮膚を傷つけることで色素沈着になる可能性があります。
- ・当日から入浴はできますが、熱いお湯に長時間入ることは避けてください。飲酒、サウナ、激しい運動はお避け下さい。
- ・治療期間中の日焼けは避けて下さい。日焼け予防対策を日常的に行って下さい。また、洗顔時などに顔をこすらず、泡で洗顔するように御注意ください。

・照射後は医師の指示に従い、ホームケアを行って下さい。

### ◆治療方法と経過

- ・痛みに弱い方は必要時表面麻酔を行います。医師に相談して下さい。
- ・レーザー光から目を保護する為にゴーグルを着用します。照射中は外さないで下さい。
- ・目を閉じた状態でも眩しく感じることもありますが、眼に影響はありません。
- ・効果には個人差があり、色素の状態によっては、改善が見られない場合があります。
- ・施術後に副作用である熱傷、炎症後色素沈着、脱色素斑を起こしたりする場合があります。まれにあります。副作用が出た場合は症状に応じて必要な治療を行います。

### ◆副作用

- 【色素沈着】擦れやすい・日焼けしやすい箇所は色素沈着のリスクが高くなります。
- 【色素脱失】色調が濃い場合は熱損傷や頻回の治療を行う事により発生します。
- 【瘢痕】元の体質や、出力・短期間の照射間隔にてリスクが増大します。
- 【その他合併症】痂皮形成、水泡形成、紫斑、紅斑、浮腫、搔痒感、炎症等。

### ◆治療が受けられない方・注意が必要な方

- ・532nm、730nm、1064nmの波長域の光に過敏な方、又は光線過敏症のある方
- ・ケロイド、瘢痕体質の方・糖尿病などの内分泌疾患に罹患しており、創傷治癒に障害がある方
- ・免疫抑制を引き起こす疾患、免疫抑制剤使用中
- ・出血性疾患に罹患、抗凝固薬を内服中
- ・妊娠中、またその可能性がある
- ・発熱している・全身状態が芳しくない
- ・光過敏性発作・光線過敏症に関連した疾患に罹患・既往
- ・光過敏症を誘発する薬剤・外用薬・サプリメントを使用中

※妊娠・授乳中の方は安全性が確立されていません。医師にご相談下さい。

治療には副作用が発症する可能性があることをご理解いただいた上で治療をお受けください。

## ピコレーザー治療に関する同意書

みらい内科クリニック 院長殿

私は、上記のピコレーザー治療の作用、副作用および安全性について十分に理解し、  
ピコレーザー治療を受けること、写真撮影に同意します。

年 月 日

氏名

\_\_\_\_\_